

平成23年 5 月11日

卒後臨床研修プログラム(歯科)
事務ご担当者 殿

神戸大学医学部附属病院
研修管理委員会
委員長 古 森 孝 英

神戸大学病院歯科研修医採用試験について

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、神戸大学病院では、歯科口腔外科の卒後臨床研修プログラムにおける平成24年度歯科研修医採用試験を行います。

つきましては、別紙の募集案内を送付しますので、貴院の歯学部生に対し広報方よろしく申し上げます。

敬具



神戸大学病院歯科口腔外科 卒後臨床研修プログラム 平成24年度歯科研修医採用試験



プログラムの名称と募集定員

神戸大学病院単独型研修 (Aコース) 8名
神戸大学病院・病院歯科複合型研修 (Bコース) 3名

試験実施日時

平成23年8月16日(火) 9:00 ~ 17:00 予定
受付を外来診療棟・臨床研究棟5階口腔外科会議室で行いますので、8:50までに集合してください

試験科目

英語(辞書持込み可)、口腔外科、小論文、面接

試験会場

筆記試験：外来診療棟・臨床研究棟4階第1会議室
面接：外来診療棟・臨床研究棟4階第3会議室及び
外来診療棟・臨床研究棟4階談話室
控室：外来診療棟・臨床研究棟5階口腔外科会議室



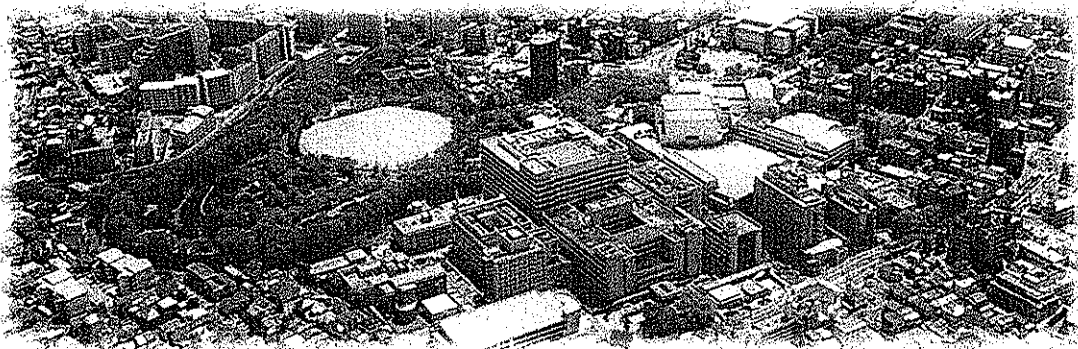
応募書類

- (1) 研修医採用申請書(本院様式)
※ 志望理由書を添付すること(字数自由)
- (2) 履歴書(本院様式)
- (3) 受験票・写真票(本院様式)
- (4) 卒業(見込)証明書(出身大学様式)
- (5) 成績証明書(出身大学様式)
- (6) 返信用封筒(長三封筒に受取人住所氏名を明記し、切手360円分を貼付)



申込締切日

平成23年8月5日(金) 必着



神戸大学歯科口腔外科卒後臨床研修プログラム（平成24年度）

1. プログラムの名称

- A コース:神戸大学病院単独型研修
- B コース:神戸大学病院・病院歯科複合型研修

2. 歯科口腔外科の紹介

神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科は、全国の口腔外科専門施設の中でも、顎口腔腫瘍、顎変形症、顎関節症、インプラントなど口腔外科疾患の患者数が多いことで知られている。外来初診患者数は年間約 3000 名、入院患者数は年間約 300 名で、病床数は 17 床を配分されている。また、医学部口腔外科という性格上、口腔外科疾患だけではなく、有病者に対する歯科診療も積極的に行っている。常勤歯科医師は大学院生や研修医を含めると 50 名在籍しており、その他 15 の関連病院を含めると約 80 名の常勤歯科医師が勤務している（2010 年 3 月現在）。

神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科では臨床研修必修化前は毎年 8～10 名前後の研修歯科医を受け入れ卒後教育に取り組んできた。国立大学医学部にある歯科口腔外科という利点を生かし、待遇なども恵まれた条件の下で、歯の治療に止まらず全身管理能力を持った多くの歯科医師の養成を行ってきた。平成 18 年度からは必修化に伴い、単独型プログラムと複合型プログラムの両者を準備し、毎年 10 数名の研修歯科医を受け入れている。この受け入れ人数は全国医学部の中で最大であるが、これを可能にしている理由は、兵庫県では開業医・病院歯科・大学病院の病診連携がしっかりと構築されていること、加えて神戸大学および関連施設において十分な数の患者さんと指導歯科医が勤務していることなどが挙げられる。これら 2 つの研修プログラムを設定することにより、将来研究者や口腔外科専門医を目指す人にも、病院歯科勤務を目指す人にも、また開業医を目指す人にも対応可能なものになっている。

3. プログラムの目的と特徴

いずれのプログラムも口腔外科や全身管理を含めた総合的な歯科診療能力を身につけることを目的とする。

A コースは神戸大学病院において 1 年間研修を行うコースで、口腔外科を中心とした研修に特に力を入れており、将来口腔外科専門医を目指すものにとって最適のコースである。B コースは神戸大学病院と病院歯科の両方で 6 か月間ずつ研修を行うコースで、口腔外科と一般歯科の両者を経験できる。いずれのコースの研修歯科医も、研修協力施設である加古川歯科保健センターで障害者診療を、加古川白寿苑（高齢者施設）で訪問歯科診療を、短期間ではあるが体験できるようになっている。

4. プログラムの指導者と参加施設

A コース：

- 単独型研修施設 神戸大学医学部附属病院（指導医：古森孝英，他）
- 研修協力施設 加古川歯科保健センター（研修実施責任者及び指導担当者：釜谷隆秋）
- 介護老人保健施設加古川白寿苑（研修実施責任者及び指導担当者：裏川公章）

B コース：

- 管理型研修施設 神戸大学医学部附属病院（指導医：古森孝英，他）
- 協力型研修施設 医療法人博愛会広野高原病院（指導医：黒木信祐）
- 特定医療法人仁厚会藤井政雄記念病院（指導医：市来浩司）
- 研修協力施設 加古川歯科保健センター（研修実施責任者及び指導担当者：釜谷隆秋）
- 介護老人保健施設加古川白寿苑（研修実施責任者及び指導担当者：裏川公章）

5. プログラムの管理運営体制

- プログラム委員長 古森孝英
- プログラム副委員長 渋谷恭之

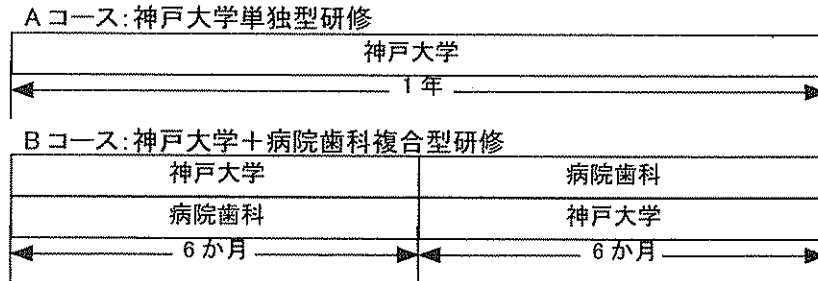
6. 定員

Aコース：8名

Bコース：3名

*マッチングの結果欠員ができれば追加募集を行う予定である。

7. 教育課程



研修プログラム

1) 基本習熟コース

(1) 医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科医療を実施するために、医療面接についての知識、態度、技能を身に付け実践する。

【行動目標】

- ①コミュニケーション・スキルを実践する。
- ②病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）聴取を的確に行う。
- ③病歴を正確に記録する。
- ④患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥患者の自己決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
- ⑦患者のプライバシーを守る。
- ⑧患者の心身における QOL (Quality Of Life) に配慮する。
- ⑨患者教育と治療への動機付けを行う。

(2) 総合診療計画

【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①適切で十分な医療情報を収集する。
- ②基本的な診査（基本的な検査を含む）を実践する。
- ③基本的な診査の所見を判断する。
- ④得られた情報から診断する。
- ⑤適切と思われる治療法および別の選択肢を提示する。
- ⑥十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑦一口腔単位の治療計画を作成する。

(3) 予防・治療基本技術

【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

【行動目標】

- ①基本的な予防法の手技を実施する。
- ②基本的な治療法の手技を実施する。
- ③医療記録を適切に作成する。
- ④医療記録を適切に管理する。

(4) 応急処置

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ②歯、口腔および顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③修復物、補綴装置等の脱離と破損および不適合に対する適切な処置を実践する。
- (5) 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- ①う蝕の基本的な治療を実践する。
- ②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ③歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- ④抜歯の基本的な処置を実践する。
- ⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。
- (6) 医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身につける。

【行動目標】

- ①保険診療を実践する。
- ②チーム医療を実践する。
- ③地域医療に参画する。

2) 基本習得コース

(1) 救急処置

【一般目標】

歯科診療を安全に行うために必要な救急処置に関する知識、態度、技能を習得する。

【行動目標】

- ①バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- ②服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- ③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- ④歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- ⑤一次救命処置 (Basic Life Support: BLS) を実践する。
- ⑥二次救命処置 (Advanced Cardiovascular Life Support: ACLS) を説明する。

(2) 医療安全・感染予防

【一般目標】

円滑な歯科診療を実施するために必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度、技能を習得する。

【行動目標】

- ①医療安全対策を説明する。
- ②アクシデントおよびインシデントを説明する。
- ③医療過誤について説明する。
- ④院内感染対策 (スタンダードプリコーションを含む) を説明する。
- ⑤院内感染対策を実践する。

(3) 術後評価管理

【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度、技術を習得する。

【行動目標】

- ①リコールシステムの重要性を説明する。
- ②治療の効果を評価する。
- ③予後を推測する。

(4) 予防・治療技術

【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

【行動目標】

- ①専門的な分野の情報を収集する。
- ②専門的な分野を体験する。
- ③POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。
- ④EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。

(5) 医療管理

【一般目標】

適切な歯科診療を行うために必要となる、より広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

【行動目標】

- ①歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ②常に、必要に応じて医療情報の収集を行う。
- ③適切な放射線管理を実践する。
- ④医療廃棄物を適切に処理する。

(6) 地域医療

【一般目標】

歯科診療を適切に行うために、地域医療について知識、態度、技能を習得する。

【行動目標】

- ①地域歯科保健活動を説明する、
- ②歯科訪問診療を説明する。
- ③歯科訪問診療を体験する。
- ④医療連携を説明する。

(7) 全身管理

【一般目標】

有病者に対して安全な歯科診療を実施するために、全身疾患への対処法に関する知識、態度、技能を習得する。

【行動目標】

- ①血液検査所見を的確に評価する。
- ②心電図所見を的確に評価する。
- ③静脈確保を確実に実施する。
- ④全身疾患を有する患者に対して歯科治療を行う際に、的確な全身管理を実施する。
- ⑤他科医師に的確に対診を行う。

(8) 症例呈示

【一般目標】

チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な症例提示と意見交換を行う。

【行動目標】

- ①症例呈示と討論を実践する
- ②学会や研究会の発表資料作成の補助を行う。
- ③臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。

(9) 歯科口腔外科高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科口腔外科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける

【行動目標】

- ①埋伏歯抜歯を的確に実施する。
- ②顎間固定を的確に実施する。
- ③顎関節症の診断と保存的治療を的確に実施する。
- ④全身麻酔下手術の介助を的確に実施する。

(10) 障害者歯科治療

【一般目標】

障害者歯科治療に関する専門的知識を習得する。

【行動目標】

- ①脳性麻痺、発達遅滞、自閉症、ダウン症などの先天性障害について理解する。
- ②知的障害者に歯科治療を行う際の行動管理法の種類やその適応について説明する。
- ③障害者歯科治療を実践する。

8. 研修歯科医評価

当プログラム独自の評価方法で行う。

9. プログラム修了の認定

プログラム修了者には認定証を発行する。

10. プログラム修了後のコース

1) アドバンスドコース：

神戸大学病院でさらに1年間口腔外科を中心とした研修を行う。研修医の給与が支給される。定員は若干名。

2) 大学院進学コース：

神戸大学大学院医学系研究科（博士課程4年間）に進学する。入学試験があり、授業料が必要。定員は若干名。

3) その他：

研究生として口腔外科を中心とした研修を行うことも可能。授業料が必要。定員は若干名。

11. 研修歯科医の処遇

神戸大学医学部附属病院で歯科研修を行う場合の処遇は下記のとおりとする。

1) 身分：医員（研修医）

非常勤職員

2) 勤務日数及び時間：週5日40時間勤務、原則として午前8時30分から午後5時15分まで

3) 休暇：原則として土曜日・日曜日及び法令に規定された休日（年末年始を含む）

年次有給休暇：任用期間が6月以上ある者については採用時に3日、採用日から6月間継続勤務して全労働日の8割以上勤務した場合に7日。

4) 給与：日給10,000円（勤務8時間につき）

5) 諸手当：通勤手当、臨床研修手当

6) 研修歯科医のための宿舎：なし（大学生協から斡旋を受けることが可能）

7) 保険・年金：社会保険・厚生年金・雇用保険・労災保険

8) 健康管理に関する事項：健康診断を実施（年2回）

9) 医療過誤保険：病院で加入

10) 外部の研修活動に関する事項：学会、研究会等への参加が可能、参加費用支給は有
なお、協力型研修施設においては各施設の基準により処遇が決定される。

12. 研修歯科医の募集方法

1) 採用試験に関する応募書類は以下のとおりとし、平成23年8月5日（金）までに必着とする。

- ・ 研修医採用申請書（本院様式） ※ 志望理由書を添付すること（字数自由）
- ・ 履歴書（本院様式）

- ・ 受験票・写真票(本院様式)
 - ・ 卒業(見込)証明書(出身大学様式)
 - ・ 成績証明書(出身大学様式)
 - ・ 返信用封筒(長三封筒に受取人住所氏名を明記し、切手 360 円分を貼付)
- 2) 採用試験日時：平成23年8月16日(火)
- 3) 採用試験日当日は、以下の物を携行すること。
- ・ 受験票
 - ・ 筆記道具(鉛筆、シャーペン、黒色又は青色のボールペン)
 - ・ 腕時計又は小型の置時計(携帯電話の代用不可)
 - ・ 英語辞書(電子辞書も可)
- 4) 試験科目は以下のとおりとする。
- ・ 英語(辞書持込み可)
 - ・ 口腔外科
 - ・ 小論文
 - ・ 面接

13. 研修歯科医の採用方法

歯科医師臨床研修マッチング協議会でマッチング結果発表により誓約書を取り交わした後、採用内定通知(仮契約書)を交付する。

なお、採用内定は以下の4点を前提とし、いずれかの要件が満たされなかった場合は無効となる。

- 1) 歯学部卒業見込の方は、平成24年3月31日までに卒業されること。
- 2) 第105回歯科医師国家試験に合格されること。
- 3) 健康診断書等の書類を提出すること。
- 4) 歯科医師としてふさわしくない行動のないこと。

14. 資料の請求先

〒650-0017 神戸大学大学院医学系研究科外科系講座口腔外科学分野 古森孝英

15. 指導医リスト

神戸大学病院

古森孝英	教授	昭和54年卒 歯学博士 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本顎関節学会認定医・指導医 日本レーザー歯学会認定医・指導医 日本外傷歯学会認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
渋谷恭之	講師	平成1年卒 医学博士 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本障害者歯科学会認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本顎顔面インプラント学会指導医
古土井春吾	助教	平成4年卒 医学博士 日本口腔外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
南川 勉	助教	平成7年卒 医学博士 日本口腔外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
鈴木泰明	助教	平成8年卒 医学博士

		日本レーザー医学会専門医
		日本口腔外科学会専門医
村田真穂	助教	平成 11 年卒 医学博士
竹内純一郎	特定助教	平成 14 年卒 医学博士
上原千鶴	医員	昭和 63 年卒
		日本矯正歯科学会認定医

医療法人博愛会広野高原病院

黒木信祐 医長 平成 16 年卒 医学博士

特定医療法人仁厚会藤井政雄記念病院

市来浩司 所長 平成 1 年卒
日本顎咬合学会認定医

指導体制

研修歯科医は指導歯科医の指導の下で、指導歯科医以外の歯科医（いわゆる上級歯科医）とともに診療チームを形成して研修を行う。プログラム責任者は、指導歯科医と密接な連携をとり研修歯科医のプログラム進行状況の把握（管理）及びアドバイス（相談）を行う。

平成 年 月 日

神戸大学医学部附属病院長 殿

フリガナ		性別	印
氏 名		男	
		女	
生年月日	昭和 年 月 日生		

歯科口腔外科 医員(研修医) 採用 申請 書

神戸大学医学部附属病院群の歯科口腔外科医員(研修医)に採用願いたく、所定の書類を添えて申請します。
 なお、採用された場合は、神戸大学医学部附属病院及び協力病院・施設の規則等に従い勤務します。

本 籍 地 (外国人の場合は 国籍を記入する)	都 道 府 県 (外国人の 場合の国籍)		
現 住 所	郵便番号	〒□□□-□□□□	
	フリガナ 住 所		
	電 話		
	携帯電話		
	Eメール	@	
実 家 等 連 絡 の 先	郵便番号	〒□□□-□□□□	
	フリガナ 住 所		
	電 話		
出 身 大 学 (設置者は該当する ものにチェックを入れる)	設置者	大 学	
	<input type="checkbox"/> 国立		
	<input type="checkbox"/> 公立		
	<input type="checkbox"/> 私立	平成 年 月 入学	平成 年 月 卒業・卒見
コ ー ス 希 望 順 (口に1又は2を記入)	第 <input type="checkbox"/> 希望 Aコース 神大病院通年研修		
	第 <input type="checkbox"/> 希望 Bコース 神大病院(6ヶ月)+病院歯科複合型研修(6ヶ月×1)		
B コ ー ス の 協 力 病 院 選 択	後日、Bコースで採用内定となった者と個別に協議し決定する		
注意事項 A・Bコースの割振りには上記の希望と採用試験成績順によって歯科口腔外科が行うのであらかじめ了承されたい。			

履 歴 書

平成 年 月 日作成

<p>写真貼付 (念のため裏に氏名記入)</p> <p>3ヶ月以内に撮影した 正面上半身無帽の写真 長辺5cm以上</p>	ふりがな				印
	氏 名				
	本籍地	生年月日	昭和	年 月 日	(満 歳)
	ふりがな				
	現住所又は 連絡先				
郵便番号					
□□□-	電 話 ()-()() 方呼出				
□□□□	携 帯 ()-()()				

学 歴 (学校名・学部名・学科名等)	在 学 期 間	卒(見込)・修・退の別
高校	(年) (月) (年) (月)	卒 業
大学	. ~ .	
	. ~ .	
	. ~ .	
	. ~ .	
	. ~ .	
	. ~ .	

年	月	日	資 格 ・ 免 許 等 の 名 称

*裏ページの職歴欄に続く

平成24年度
神戸大学医学部附属病院
歯科口腔外科医員(研修医)
採用試験受験票

写真貼付
(念のため裏に氏名記入)

3ヶ月以内に撮影した
正面上半身無帽の写真
長辺5cm以上

受験番号	*
------	---

氏名	
----	--

- 注意
1. 受験の際には必ず本票を持参すること。
 2. 面接の概ねの予定時刻を当日掲示する。

平成24年度
神戸大学医学部附属病院
歯科口腔外科医員(研修医)
採用試験写真票

写真貼付
(念のため裏に氏名記入)

3ヶ月以内に撮影した
正面上半身無帽の写真
長辺5cm以上

受験番号	*
------	---

氏名	
----	--

- 注意
1. 写真を貼付し、氏名を記入の上、提出。
 2. 受験番号欄には何も記入しないこと。
 3. 受験票と写真票は切り離さないこと。

外周に沿って切り抜き提出する 